

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	伊藤 恵美子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

このゼミは、大学生として知っておきたい現代社会（日本だけでなく国際社会）に関する知識を豊かにするとともに、その背景についても理解を深めることを目的とします。学生は新聞を読んで「面白い!」と思ったニュースを「私が選んだ今週のニュース」として選び、ニュースの背景について考え、クラスでプレゼンテーションを行います。発表を聞いた学生は全員、発表者に質問して意見を必ず述べます。発表したニュースは、最終的にレポートにまとめて提出します。後期「総合演習Ⅱ」は対象地域を「日本国内」「外国」に分けて進めます。この過程で、情報収集の能力、口頭表現・文章表現の能力を養います。基本的には教室での対面授業、新型コロナウイルス感染拡大により入構禁止等に及んだ場合に限り、リモート授業を行います。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は演習方式で行います。発表者のプレゼンテーションを傾聴し、それに基づくディスカッションにより進めていきます。前期の学修で広がった視野から現代の日本社会・国際社会を見つめていき、総合演習発表大会・レポート作成につなげていきます。無断欠席は認められないので留意すること。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	夏期休暇の報告、個人面談(1)	<input type="checkbox"/>
第2回	2022年度後期計画	後期の学修と学生生活の計画、個人面談(2)	<input type="checkbox"/>
第3回	発表Aグループ(1) 日本国内のニュース	Aグループのプレゼンテーション(1)	<input type="checkbox"/>
第4回	ニュースの背景	先週のニュースの背景考察	<input type="checkbox"/>
第5回	発表Bグループ(1) 日本国内のニュース	Bグループのプレゼンテーション(1)	<input type="checkbox"/>
第6回	ニュースの背景	先週のニュースの背景考察	<input type="checkbox"/>
第7回	発表Aグループ(2) 外国のニュース	Aグループのプレゼンテーション(2)	<input type="checkbox"/>
第8回	ニュースの背景	先週のニュースの背景考察	<input type="checkbox"/>
第9回	発表Bグループ(2) 外国のニュース	Bグループのプレゼンテーション(2)	<input type="checkbox"/>
第10回	ニュースの背景	先週のニュースの背景考察	<input type="checkbox"/>
第11回	レポートの下書き	前期優秀レポートの分析から、レポートの下書きへ	<input type="checkbox"/>
第12回	総合演習発表大会の準備(1)	総合演習発表大会で使用するスライド作成	<input type="checkbox"/>
第13回	総合演習発表大会の準備(2)	総合演習発表大会のリハーサル	<input type="checkbox"/>
第14回	レポートの推敲	授業中に推敲したレポート(清書)を提出	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	1年間のまとめ	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

1週間の新聞各紙を読んで比較すること(2時間程度)。読んだ記事の中から「私が選んだ今週のニュース」を切り抜き、その背景を考えること(1時間程度)。ニュースと考えた背景を、レジュメにまとめること(1時間程度)。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

発表したニュースについて、クラスで議論して共有します。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	大学生として必要な知識・情報が収集できるようになる。 現代社会に関する理解が深まる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	情報の信頼性が判断できるようになる。 自らの考えを口頭発表し、文章にも的確にまとめることができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	仲間のプレゼンテーションを傾聴できるようになる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
		0%	40%	60%
<b>授業内試験等 (具体的内容) (Specific contents)</b> 平常評価：発表に対するコメント、総合演習発表大会への貢献度 その他：レジュメの内容 (20)、レポート (40)				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	近藤裕子・由井恭子・春日美穂 (2019) 『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法』 ひつじ書房	978-4-89476-970-0
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	村岡貴子・因京子・仁科喜久子 (2013) 『論文作成のための文章力向上プログラム： アカデミック・ライティングの核心をつかむ』 大阪大学出版会	
2		
3		
4		
5		